

無石綿

# NSカチオンフレックス

## セメント混和用カチオン系 SBRラテックス

NS カチオンフレックスは、特殊変性のセメント混和用カチオン系スチレンブタジエンゴムラテックス(SBR)です。NS カチオンフレックスを混入したポリマーセメントモルタルは、改修・補修工事用として広範囲に使用できます。

### 特長

- 各種下地に対する接着性に優れています。
- 原液練りで水を加える必要がないため、品質管理が容易です。

### 標準仕様

荷姿	適用部位	適用下地*	適用仕上げ	標準調合	塗厚	標準施工面積
18kg/缶	内・外壁、 内・外床	コンクリート、 モルタル、 ブロック、 PC板、 ALCパネル、 タイル等	クロス、塗料、仕上塗材、 Pタイル、タイルカーペット、 塗床、防水材	セメント 25kg けい砂 7号 20kg MC 45g NSカチオンフレックス 12kg	1~2mm	約 22m <sup>2</sup> /缶 (2mm厚)
			仕上塗材、モルタル、 セラミックタイル、防水材	セメント 25kg 左官砂 75kg MC 45g NSカチオンフレックス 16kg	2~10mm	約 13m <sup>2</sup> /缶 (5mm厚)

注)\*: 適用下地の詳細については「適用下地一覧表」を確認してください。

上記標準仕様以外での施工による不具合につきましては、弊社では責任を負いかねますのでご注意ください。  
※各生産工場により、標準調合(加水量)が若干変わることがありますので、製品の包装袋の記載値で調合してください。

### ■適用下地一覧表

A. 良く接着する下地	コンクリート、モルタル、ブロック、PC板、ALCパネル、セラミックタイル、ガラスモザイクタイル、大理石、御影石、人造石研ぎ出し、セメントリシン、アクリル系吹付タイル
B. 接着は良いが、事前に接着性の確認を要する下地*	ウレタン防水用プライマー、加硫ゴムシート防水用プライマー、加硫ゴムシート防水用接着剤、塩化ビニルシート防水用接着剤、エポキシ塗床、アクリル系吹付タイルトップコート、鉄板
C. 接着が不安定な下地*	アスファルト防水用プライマー、ウレタン防水トップコート、アクリルリシン、スタッコ、現場発泡ウレタン
D. 使用できない下地	アルミニウム、ステンレス、ウレタン塗床、塩化ビニルシート、加硫ゴムシート、FRP防水等

注)\*: 試験塗りをおこない、接着性を確認してください。

※改修工事の際、良く接着しても下地の母材強度が弱い場合、再仕上材の種類によっては下地を引き起こすことも考えられますので、下地が健全であることを確認してください。

### 性能

#### ■性状

主成分	カチオン系 スチレンブタジエン ゴムラテックス
外観	乳白色
pH	7±1
粘度	2~50mPa・s
密度	1.01g/cm <sup>3</sup>
凍結安定性	異常なし
機械安定性	異常なし

#### ■NSカチオンフレックス混入モルタルの基本性能

試験項目	試験結果	JIS A 6203:1996 品質基準
単位容積質量 (kg/L)	1.96	—
曲げ強さ (N/mm <sup>2</sup> )	8.7	8.0以上
圧縮強さ (N/mm <sup>2</sup> )	28.4	24.0以上
接着強さ (N/mm <sup>2</sup> )	2.6	1.0以上

※上記試験結果は、JIS等の規格に定められた条件下で得られた測定値です。日本化成(株)技術開発本部

# 施工法

## 下地の清掃

下地のぜい弱層・レイトンス・油分・汚れ等をワイヤブラシ・サンダー掛け等で除去し、水洗い清掃または高圧水洗浄をおこなってください。  
\*浮き・はく落の原因となりますので、下地の清掃は入念におこなってください。

## 下地処理

(吸水調整材塗布)

吸水性のある下地への施工の場合には、NS ハイフレックス HF-1000 の 5 倍希釈液を刷毛等でむらなく塗布してください。

\*ブロック等下地の動きが想定される場合は適切なひび割れ抑制措置が必要です。

吸水性のある下地	吸水性がほとんどない下地
コンクリート、PC 板、ALC パネル、ブロック、軽量コンクリート、モルタル等	セラミックタイル、ガラスモザイクタイル、アクリル系吹付けタイル、アクリルリシン、鉄板等

## 練混ぜ

セメント、左官砂、けい砂、MC 等はあらかじめ空練り後、所定の NS カチオンフレックスを加えてモルタルミキサー等でダマにならないように十分練り混ぜてください。

\*強度低下の原因となりますので、NS カチオンフレックス、粉体の調合割合を厳守してください。加水後の材料は、夏季 40 分以内、冬季 60 分以内に使い切り、練足し、水を加えての練直しは避けてください。

## 塗付け

こて圧をかけて下地に擦り込むように塗り付け後、所定の厚さになるよう塗り付けてください。仕上材の種類によって、金こて押え、木こて押え、刷毛引き等をおこなってください。

\*浮きや割れの原因となりますので、「ガリツ」と擦ってから所定厚に塗り付けてください。

\*1 回の塗厚は、標準仕様の塗厚を厳守してください。

\*標準仕様の塗厚をこえる場合は、2 回以上に分けて塗り付けてください。その際の工程間隔は、夏季 3 日以上冬季 7 日以上としてください。ただし、モルタル工法で全面塗りの場合は、1 回の塗厚を 6mm 以下としてください。

\*塗り継ぐ場合、下塗面は金こて押えを避けてください。

\*JASS 15 左官工事の標準仕様に従って施工してください。塗厚が 25mm をこえる場合はステンレスアンカーピンとステンレススラス等を併用してください。

## 養生

通風や直射日光を避け、必要に応じて屋内では開口部の閉鎖、屋外ではシート掛け等の養生をおこなってください。また、施工後、降雨・降雪のおそれがある場合も、シート掛け等の養生をおこなってください。

\*強度が出ないおそれがあるため、通風や直射日光により塗付け面の乾燥が激しい場合には、塗付け翌日以降に散水養生をおこなってください。

\*初期の雨掛り等は、強度不足・白華の原因となりますので、シート掛け等の養生をおこなってください。白華した場合には水洗い等により除去してから、次工程の作業をおこなってください。

\*仕上材の浮きやはがれ・はく落の原因となりますので塗り付け後から仕上材の施工までの養生は、夏季 7 日以上、冬季 14 日以上おこなってください。

NS カチオンフレックス

日本建築仕上材工業会登録	
登録番号	0306232
放散等級区分表示	F☆☆☆☆
問合せ先	<a href="http://www.nsk-web.org/">http://www.nsk-web.org/</a>



### 使用上の注意

- 気温が 3℃以下になる場合には、施工を避けてください。
- 本品は既調合品です。指定材料以外の他の材料の混入は避けてください。
- 使用後の器具は速やかに水で洗浄してください。
- 製品は製造年月日を確認し、6 ヶ月以内を目安に使用してください。

本カタログに記載された内容(データ・仕様・施工法等)は、作成時点で入手できた情報・データに基づいており、実際の現場での結果を確実に保証するものではありません。また、本カタログの内容は、断りなく変更することがありますので、ご了承ください。ご使用に際しては、適切な使用方法と安全対策に注意し、お取り扱いください。

 **日本化成株式会社**



製品問合わせダイヤル  **0120-974237**

製品の概要・施工に関してはこちらのダイヤルまでお問合せください。

ホームページ <http://www.nihonkasei.co.jp/> 日本化成の最新情報もご覧ください。